



楽しかった、けやき祭り

11月15日(日)にけやき祭りをしました。今年も米作りのまとめの活動の収穫祭として、また、子ども達の学習の成果を発表する「学習発表会」の場として実施しました。そもそも「祭り」は、収穫に対する神様への感謝をその起源とする説があります。自然の恵みに感謝するとともに今年も子どもたちと共に田植えから稲刈り、脱穀まで協力していただいたPTAの三役をはじめ、環境整備部長、部員の方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、朝早くから餅つきの準備やお世話をしていただいた各地区の親子会やご家族の皆さんにも心より感謝いたします。

今年も国際交流でネパールの方々にも参加していただきました。一緒に餅つきをしたり、餅を食べたりしながら交流しました。ネパール大地震に対する募金のお礼として、学習発表会ではネパールの歌を披露していただきました。

閉会式では、お世話になった方々へ感謝の気持ちを全員で伝えました。お天気にも恵まれ、内容も盛りだくさんのとても充実したけやき祭りとなりました。



【歌を披露するネパールの方々】

4年生が音楽大会に出場

11月20日(金)、第68回西諸県地区小中学校音楽大会が小林市文化会館で開催され、本校からも4年生が出場しました。「プログラム6番、西小林小学校。」というアナウンスが流れ、「With You Smile」を合唱し、「相棒」を合奏しました。先日のけやき祭りでも発表しましたが、その後も昼休みの時間等を使って練習を重ね、さらに上手になっていました。

特に合奏曲「相棒」はテンポが速く、大変難しい曲でしたが、見事に心を一つにして素晴らしい演奏を聴かせてくれました。合唱は歌声が優しく、合奏はとても迫力があって正確に演奏ができていたと思います。これも練習の成果です。この経験を学校生活にも生かして、さらにまとまりのよい学級になって欲しいと思います。



火災の避難訓練をしました

11月5日(木)に火災の避難訓練を実施しました。ご存知の通り、つい最近、都城市の小学校6年生3名と保護者1名の貴い命が火災により失われました。主な死因は煙を吸っての一酸化炭素中毒だったそうです。身近なところでこのようなことが起きるとは本当に悲しいことですが、「自分の命は自分で守る」ことを常に意識しながら、様々な状況の中でも最善を尽くすことができるよう、今後も繰り返し指導していきます。



12月行事予定

- 1日(火) 全校朝会、全校体育クラブ
- 2日(水) 参観日、持久走大会
茶のん場
- 7日(月) 国際交流(1~4年)
- 8日(火) 保育園訪問(5年)
- 9日(水) 教育相談
- 10日(木) ALT訪問
- 11日(金) 清掃班会
- 14日(月) 図書館閉館
(本返却~17日)
- 15日(火) クラブ

- 16日(水) 読み聞かせ
- 17日(木) 読書の時間(低)
- 18日(金) 給食着持ち帰り
- 21日(月) マスク給食(~24日)
冬休み図書貸出(~22日)
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木) 2学期前半授業終了日
全校朝会、集団下校
- 25日(金)~ 冬休み
※ 冬休みは、1月5日(火)まで。
事故や病気に気をつけましょう。
火遊びは絶対にしません。

*2日(水)の持久走大会(雨天順延)の応援、よろしくお願いいたします。

持久走大会の応援、お願いします。

12月2日(水)、今年も恒例の持久走大会を実施します。当日は参観日にもなっていますので、多くのご家族の方、地域の方々の応援をよろしくお願いいたします。当日の予定では、10時20分に1年生女子がスタートして、最後に6年生男子が11時25分にスタートします。場所は例年通り、運動場及び学校北側の道路です。

駐車場は、小学校体育館前と中学校の運動場を利用していただき、コース沿いの道路等に駐車できませんようよろしくお願いいたします。

今、子ども達は、本番に向けて一生懸命に練習しているところです。練習の成果を十分に発揮して素晴らしい走りを見せて欲しいです。

尚、雨天の場合は、順延になります。

中学生の職場体験がありました

11月12日(木)から13日(金)にかけて、西小林中学校の2年生、小倉あかねさん、西之原帆香さん、木村早智佳さんの3名が本校で職場体験学習をしました。いずれも、将来は小学校や中学校の先生になりたいという明確な目標を持っていて、二日間、大変意欲的に取り組んでくれました。

教育実習とは異なり、実際に子ども達に指導する場面はありませんが、学校の先生がどのような仕事をしているのか、実際に授業を見学したり、先生方の仕事を手伝ったりしながら子どもへの接し方や教え方などを学ぶという体験です。

2日間という大変短い時間で、3名とも素晴らしい体験ができたようで、学校の先生になりたいという気持ちが更に高まったようです。夢の実現に向けて是非頑張ってくださいね。

にっこばきらきら子どもたちの紹介

▼ 宮崎日日新聞「若い目」掲載

○3年 熊ノ迫 菫香さん

「好きな植物四つ」

10月5日掲載

○4年 早田 暖さん

「星はおもしろい」

11月6日掲載



【熊ノ迫さん】 【早田さん】

▼ 小林市小体連陸上大会

○6年 近藤 聖真君

ソフトボール投げ 6位



▼ 小林市読書感想文・感想画コンクール

○読書感想文の部

教育長賞

1年 小倉 智大君

○読書感想画の部

教育長賞

6年 牧野 文花さん 【小倉君】 【牧野さん】



*今回紹介できなかった皆さんは次回紹介します。

県読書感想文コンクール優秀賞の作文紹介 3年 牟田 陸翔君

「あと少しのゆう気をもって」



「教室はまちがうところだ」えっ、まちがうところ、ぼくはこのだい名を見た時、どうしてだろうと思いました。ぼくは、その答えが知りたくなりました。また、先生がりょう手で子どもたちをかかえている表紙も気に入ったので、この本を読むことにしました。

この本は、学級の先生が子どもたちにどうして教室はまちがうところなのか、教えてくれている本です。ずっと、先生が話しかけているように書いてあり、とても読みやすいです。

ぼくは、いつも学校で当たり前のように発表しているけれど、時に自しんがなくて手をあげられなかったり、まちがった答えを言ってしまったりすることがあります。この本は、そんなぼくのすがたを見ているようでした。

ぼくは、この本を読んで心にのこったことばが三つあります。

一つ目は、「まちがった意見やまちがった答えを言い合う中でほんとのものを見つけていくのだ。」ということばです。なるほど、はじめから正しい答えを言わなくてもいいんだと、ぼくはほっとしました。まちがったってなにがおかしいという文を読むと何だかゆう気がわいてきました。そうしてみんな一人一人がのびていくんだということがわかりました。

二つ目は、「うつむきうつむき、そうっとあげた手、はじめてあげた手、先生がさした。」というところでした。ぼくもまちがえのない答えを言わなくてはならないと思って、ゆう気をもってやっと手をあげたことがあります。そんな時にかぎって先生にあてられます。するとむねの音が、どっきどっきと大きくなって、体があつくなります。答えがあっているかどうかわからなかったけれど、意見を言ってすわったら、体がすずしくなって、言えてよかったと思いました。ぼくも全く同じだと思うとうれしくなりました。少しずつだけど、ぼくもいろいろな意見をたくさん言えるようにもっともっとがんばろうと思いました。

三つ目は、「まちがいだらけのぼくらの教室、安心してまちがえや。」というところでした。ぼくだけでなく、みんなも安心してまちがえることができる教室は何て楽しそうなんだろうと思いました。いざというときは、先生が助けてくれると思うとだんだん心が楽になる気がしました。

ぼくはこの本を読んで、すごく勉強になりました。答えがまちがっていても何回も何回も発表や意見をくりかえせば、きっと正しい答えが出てくると思いました。まちがった答えもみんなが伸びていく中で大事なことがわかりました。ぼくは、学級の中であまり手をあげない方だと思います。時間がかかるかもしれないけれど、これからは自分の答えがまちがっていても、自しんをもって発表できるようになりたいです。《評》陸翔君の作文は、読みやすい構成で、気持ちもよく伝わってきます。素晴らしい。